

A) 他チームの発表を聞いて

自分たちのチームにはない解決策を提案しており、特に参考になったのは「オムライス班」「C4班」「たんたん班」の発表であった。オムライス班では、高齢者の事故や不注意による事故、さらに道路環境に起因する交通事故について指摘していた。これに対する解決策として、車線やカーブ、交差点、横断歩道など特に注意が必要な場所を中心に、音や光を用いて注意を促す「レインボーロード」を導入するという提案がされていた。この取り組みは、高齢者だけでなく子どもや若者を含めた老若男女すべての人が直感的に交通への注意を向けることができる点で有効である。そのため、事故防止につながる解決策であると感じ、参考になった。C4班では、自動車と自転車などの接触事故が多いことや、地方都市における自動車依存度の高さといった問題点を指摘していた。そして、歩行者・自動車・バスなどの交通手段を最大限に活用し、快適な交通網にしていく必要性を述べていた。その解決策として、車道・自転車道・歩道を明確に分離することで、利用者の安全性を高め、接触事故そのものを減少させるという提案が挙げられていた。このような取り組みにより、住民の移動手段が多様化し、車に依存しない暮らし方を広げていける点が参考になった。たんたん班では、高齢者が免許を返納したいと考えていても、現在の生活環境では移動手段が限られており、免許返納が困難であるという問題を指摘していた。その解決策として、デマンド交通やコミュニティバスなど、地域に密着した交通支援の充実が必要であると述べていた。この提案は、高齢者の安全確保だけでなく、安心して生活を続けられる地域づくりにもつながる点で参考になった。

B) 地方都市における交通の問題を総合的に解決するための自分の意見

自分たちのチームでは、地方都市において自転車事故が多いことに着目し、その主な原因として、自転車の運転に慣れていることによる利用者の意識低下の問題について考えた。日常的に自転車を利用していることで、安全確認を怠ったり、危険予測が不十分になったりするなど、普段の慣れから事故につながっていることが大きな問題であると考えた。しかし、他チームの発表を踏まえることで、この問題に関連する新たな原因や視点を追加できると感じた。オムライス班の発表を踏まえると、高齢者や不注意による事故が多いこと、また道路環境そのものが注意を促す構造になっていないことが、自転車利用者の意識低下にさせている可能性があると考えられた。さらに、C4班の発表からは、自動車・自転車・歩行者の通行空間が明確に分離されていないことが、接触事故の発生につながっている点が示唆された。また、たんたん班の発表を通して、高齢者が免許を返納した後に安全な移動手段が不足している現状が、自動車に無理に頼らざるを得ない状況を生み出していることも問題であると考えた。これらを踏まえると、課題は、「自転車利用者が日常の慣れによって安全意識を低下させないための対策を練ること」、「不注意による事故を防ぐため、危険箇所でも自然に注意を促す仕組みを整えること」、「自転車と自動車、歩行者の接触事故を減らすため、通行空間を明確に分離すること」、「道路環境を見直し、誰にとっても分かりやすく安全な交通構造にすること」、「高齢者が免許返納後も安心して移動できる交通手段を確保すること」、「自転車に限らず、すべての利用者が安全を意識しやすい交通環境を整えること」である。

これらの課題を共通して解決するためには、「交通利用者の意識低下を防ぎ、安全行動を自然に引き出す」という視点が大切になってくると思われることから、ビジョンとして「慣れによる油断を防ぎ、誰もが安全を意識できる交通環境の実現」を設定した。チームで検討した際は、ビジョンを「かもしれない運転」という自転車事故そのものを減らしていくことを中心に考えていたが、他の班の発表を踏まえたことで、道路環境や交通手段全体から意識低下を防ぐという視点が加わった。このビジョンを踏まえると、自転車利用者の意識低下に対しては、交差点やカーブなど危険な場所で音や光を用いて注意を喚起する仕組みの導入が有効であると考えられる。また、通行空間の分離を進めることで、利用者が無意識に安全な行動を取ることができる環境を整えることも重要である。さらに、デマンド交通やコミュニティバスを充実させることで、高齢者が無理に自動車に頼らずに済む状況をにすることができる。これらの実施により自転車利用者の意識低下による事故の減少が期待できるだけでなく、すべての交通利用者にとって安全で安心な交通移動環境の実現につながると考えられる。ただし、整備にかかる費用や運用面での課題があるため、地域の実情に応じた段階的な導入について検討する必要がある。

①採点結果返却希望です。

② iii269750@gmail.com